

部局名	都市整備部	所属名	土木建設課	所属長名	新谷 等	電 話	483-1151 内線3620
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3299		事務事業名称	道路改良事業						短縮コード	経常		臨時	3299
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	03	道路新設改良費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等		道路法第16条，第42条									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
市民生活の利便性の向上を図るとともに，生活空間として親しみやすい道路環境を創造するため，市道の整備を行う。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして							
地域社会の発展に伴う交通量の増加や大型車の通行により，既存の道路構造では対応できなくなってきたおり，拡幅等の改良の必要性が高まっている。また，道路の老朽化も進行しており，迅速な道路整備が課題である。					大項目（節）	01	第1節総合交通							
					中 項 目	02	2. 道路							
					小 項 目	03	(3)一般市道の整備							
					細 項 目	02	②市道の整備							
						03	③橋梁の整備							
				実施計画の計画事業	5062	道路改良事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市道の新設改良工事							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 道路改良・新設工事（二次改良，局部改良，道路改良，道路新設）							
	※平成24年度に計画していること： 道路改良・新設工事（二次改良，局部改良，道路改良，道路新設）							
意図 （何を狙っているのか）	地区間の円滑な移動を確保する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	要整備件数	件	2	5	2	12	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	整備件数	件	2	5	2	12	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	整備率（実績／計画）	%	50	100	40	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		3299	事務事業名称	道路改良事業			所属名	土木建設課
			単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	79, 559	91, 631	60, 843	56, 445	
		県	千円					
		地方債	千円	19, 400	198, 600	34, 400	134, 600	
		一般財源	千円	23, 917	75, 802	22, 597	60, 077	
		その他	千円	27, 321	6, 648	17, 390		
	主な事業費の内訳			工事請負費115, 876千円	工事請負費346, 021千円	工事請負費 44, 850千円	工事請負費 532, 300千円	
人件費 (B)			千円	22, 426	23, 083. 5	32, 736. 6	32, 736. 6	
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	172, 623	395, 764. 5	167, 966. 6	283, 858. 6	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由			
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		「道路改良事業」は上位の施策である「一般市道の整備」を推進するために必要な事業である。			
			☐ 結び付くが見直しの余地がある					
			☐ 結びつきが弱い・ない					
			☐ 評価対象外事項					
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		今後も、市道の安全かつ円滑な交通を確保していくために必要である。			
			☒ 達成していない					
			☐ 評価対象外事項					
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		道路法に道路管理者としての市の責務規定があるため。			
			☒ 可能性はない					
			☐ 評価対象外事項					
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的の変更は無く、現状の対象と意図で結果に結び付くことができる。			
			☐ 見直す必要がある					
☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		市道の安全かつ円滑な交通を確保するため、現時点では可能性がない。			
			☐ 効率性向上の可能性はある					
			☐ 両方可能性はある					
			☒ 可能性がない					
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等					
			☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用					
			☐ I T化等の業務プロセスの見直し					
			☐ 受益者負担の見直し					
			☐ 類似事業との統合・役割見直し					
			☐ 上記以外の方法					
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある					
			☐ ない					

コード	3299	事務事業名称	道路改良事業				所属名	土木建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		計画的に道路改良事業を推進していくため、成果・経費は不変である。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止・休止				
			☐ 事業完了					
			☒ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			地域自治会および住民要望を考慮し、計画的に道路改良事業を推進している。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
道路の拡幅（歩道の確保），交差点の改良，排水施設の整備等の要望が多い。（自治会・市政懇談会等）									

所属長コメント	市道の新設改良について，市民の生活道路として，安全・安心な道路づくりの推進する。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									